

国立感染症研究所村山庁舎施設運営連絡協議会
第10回会議議事要旨

1 日 時：平成28年6月23日（木）15：00～16：00

2 場 所：国立感染症研究所村山庁舎管理棟2階第一会議室

3 出席状況：出席20名 欠席3名

4 議 題

- (1) 災害・事故等発生時における対応マニュアル（案）について
- (2) その他

5 資 料

- 資料1-1：災害・事故等発生時における対応マニュアル（案）〈概要〉
- 資料1-2：災害・事故等発生時における対応マニュアル（案）
- 資料2：国立感染症研究所村山庁舎における地域との交流（前回の協議会以降）
- 資料3：国立感染症研究所村山庁舎施設運営連絡協議会 第9回議事要旨（案）

6 議事概要（○：質問・意見等 ●：回答・連絡等）

- 対応マニュアル（案）について、説明も含めて質問等があればお願いしたい。
- 「招集する職員の範囲」の説明で、概ね1時間以内に参集可能な職員を想定しているとのことであるが、人数はどのくらいいるのか。
- 人数については、今後調査し確認したい。
- 施設外への病原体等の漏えい、実験中の事故等は、BSL4施設に限らず、BSL3施設やBSL2施設においても十分あり得る。BSL4施設に限定した記述とした理由があれば、教えてほしい。

- 今回の対応マニュアル（案）は、村山庁舎全体というよりはBSL4施設に限定した対応を想定しているので、そのような記述とさせていただいた。
- 実際に、BSL4施設以外の施設で同様の問題が起きたときは、BSL4施設に準じて対応するということでよろしいか。
- BSL4以外にも、病原体のレベル毎に実験室安全操作指針等が定められている。また、安全管理規程にはBSL4施設だけでなく、他のBSL施設全てが含まれており、それに従って対応することになる。
- マニュアル（案）は、今回どこかに届け出るために作成したのか、それとも自分たちの消防、あるいは防災等のために作成したのか、教えてほしい。
- 何か具体的な法令に基づいて、どこかに届け出をするために作成したものではない。昨年12月の検討会の中間整理を踏まえ、災害・事故等発生時において、近隣住民、近隣施設等に配慮した、より具体的な対応を行うために作成したものであり、自主的に対応するものと位置づけている。
- 分かりました。
- 対応マニュアル（案）の今後の取り扱いについて、事務局から説明をお願いします。
- （案）を取り、平成28年7月1日の日付を入れて実施することとしたい。なお、「災害・事故等発生時における緊急情報伝達先」については、本協議会委員の各自治会長に、連絡方法について個別に相談させていただければと考えている。また、近隣施設で本協議会に所属していない市民総合センター、東京小児療育病院、むさし村山苑については別途、説明に伺いたいと考えている。
- 次に、前回の協議会以降の村山庁舎と地域との交流について、3点報告させていただく。
 - 1点目は、「子育て未来ネット市民講座」について。5月19日に開催され、子供の予防接種における注意事項などを説明し、その後、意見交換を行った。
 - 2点目は、「感染研市民セミナー」について。6月4日に開催され、ジカウイルス感染症の流行状況とその対策の重要性について説明した。次回は、9月に開催を予定

している。

3点目は、「BSL4施設の見学」について。2件の受け入れがあり、18名が見学した。

- 議題は以上であるが、質問等、何かあれば願います。
- 前回の協議会で、BSL4施設を使って行う研究の概要を説明した。今回、その後のその経過を報告させていただく。

SFTSという、日本で流行しているダニが媒介するウイルス感染症の治療薬の評価の研究を行うもので、5月に入って具体的な準備が始まり、計画どおりに進んでいる状況である。

- セキュリティ対策の関係で、対応マニュアル（案）に関連するものについて、状況を報告させていただく。

（昨年度に実施したもの）

- ①屋外放送設備の設置
- ②外部から8号棟への侵入を防ぐフェンスの設置
- ③外周フェンスの設置
- ④監視カメラの増設

（今年度を実施するもの）

- ①特別支援学校側の西側境界に南北の避難路を設置予定

- 感染研周辺の安全対策事業として、武蔵村山市が行っているものを紹介させていただく。

（今年度を実施するもの）

- ①街路灯のLED化
- ②雷塚公園側から感染研側への緊急車両用通路の整備
- ③防災用資材センターの設置

（来年度に実施するもの）

- ①雷塚小学校（避難場所）の窓枠交換

※今年度は実施設計

- 感染研と武蔵村山市の説明に関して伺いたい。
感染研の屋外放送設備について、試験放送あるいは住民への周知徹底など、どの

ように進めていくのか。

市が実施する事業については、住民への説明が全くなされていない状況で進んでいるように思う。住民への説明を含めて、今後どのような予定で進むのか。

- 周知に関しては、どのような形で行うのが一番効果的か、自治会の委員の方々に個別に相談させていただきたい。
- 防災用資材センターの設置に関するチラシを作成中で、近隣の住民に配付することとしている。
- いきなりチラシを配付するのではなく、まずは自治会の役員などに計画を説明し、それから配付してもらいたいと思う。
- 今の話は、武蔵村山市の所管課に伝える。いずれにしても、各自治会長には説明をするようにしていきたいと思っている。
- 雷塚小学校の窓枠工事は、どのような目的で、どのようなものが設置されるのか。また、工事は窓枠だけなのか、他はどうか伺いたい。
- 学校の全ての窓枠と体育館の窓枠を交換すると聞いている。
- 耐震に強く、気密性が高い窓を想像しているが、それでよろしいか。
- 当然、気密性は保持していると思う。学校が避難所となっているので、耐震については問題なく、窓ガラスも大丈夫だと思う。
- これは、避難所としての工事を行うということか。
- そのとおり。
- なぜ窓枠だけを交換するのか。感染研から、危険なものが飛んでくるからなのか。今の説明では、よく分からない。
- あくまで、避難所として雷塚小学校の窓枠を改修すると聞いている。感染研から

危ないものが飛んでくるために行うという趣旨ではない。避難所としての窓枠改修として、冷暖房を含めて気密性を高める目的で工事を行う。

- 委員におかれては、内容についてご意見等があれば7月1日（金）までに事務局へ連絡していただくようお願いする。意見等を踏まえ、（案）を取り議事要旨を確定して感染研のホームページで公開したいと思う。
- それから、お手元のチラシをご覧いただきたい。村山庁舎の一般公開についてのお知らせである。今年度は7月30日の土曜日、13時から17時まで開催することとしている。近隣の皆様におかれては、大勢の方に来ていただいて、村山庁舎をご覧いただければと考えている。

（以上）